

ばらとヨーグルトと世界遺産を有する東欧の国

神様がくれた国・ブルガリア

HIROSHIMA-BULGARIA ASSOCIATION



第30回・FF

ブルガリア「ばらの女王」招へいに温かいご支援を

新しい年が明け早くも春3月。草木が芽吹き季節が躍動する季節を迎える。

解講座などを開いてきました。さらには2月には駐日ブルガリア大使、萩野外務省事務官と藤田(左)、渡辺(右)の4役会を皮切りに第4、5回理事・幹事会や2回のブルガリア

ひろしま・ブルガリア協会は5月1日(月)から15日(月)まで、ブルガリアから「ばらの女王」と日本語弁論大会優勝者を招へいする計画を進めています(関連4面)。

この間5月3日(水)～5日(金)に開か



センドフ大使、萩野外務省事務官と藤田(左)、渡辺(右)



中村会長夫妻と元ミスばらの柴野さん

8 4 日 月

「総会」を広島市留学生会館で開催 第5回「理事・幹事会」で検討し決定

センドフ大使らと再会し、友好の絆を太く

えました。この中でひろしま・ブルガリア協会は今年1月14日の4役会を皮切りに第4、5回理事・幹事会や2回のブルガリア

大使館のブラゴエスト・センドフ全権大使を迎えての「中村秀美会長叙勲祝賀会」大関・琴欧州関を励ます協会」などに、当協会から藤田洋

若いスタッフのアイデアを企画に

れる第30回ひろしまフラワーフェスティバル(FF)にも参加する予定です。なお女王らの歓迎交流事業は、若い人たちが女性のアイデアを集めて進めたいと思っています。そこで、若い比とをはじめ、協力者・団体を募集しています。ご協力者やご賛同者は、事務局までご連絡ください。

協力団体や企業も募集しています

また、招待、歓迎のための団体・企業からのご支援やカンパをお願いしています。新しく自由主義の国になったブルガリアへの国際交流と貢献のために お力をお貸しください。

ご支援やカンパについては、事務局に連絡していただくか、下記口座に振り込んでいただければ幸甚です。宜しくお願いいたします。

支援金振込先: 郵便振込 01340-5-83924 「ひろしま・ブルガリア協会」宛

「大関・琴欧州関を励ます会」

- 200人のファンが参加 - 「早く横綱に」と温かく声援



当協会からも友情参加

2月4日に、福山市でブルガリア出身の「琴欧州関を励ます会」(主催・福山ブルガリア協会)が開かれました。

これには、約200人のファンが集まりました。当協会からも梶田祐子さんと藤田美智子さんから5人が友情参加し、琴欧州関やクルモアさんらと親しく交流しました。

特別寄稿

ブルガリアに住んで3年半、観劇、オペラ鑑賞、山歩きなど楽しいことが多い

ブルガリアに暮らして3年半以上経ったことになりましたが、その間に、朝から晩まで、その素晴らしい景色を再発見したことがあります。観劇、クラシック音楽、オペラ鑑賞、山歩き、四季の野草を眺めること、人々の心温まること、伝統・習俗、すべてこの国で教



ひろしま・ブルガリア協会の皆様、初めまして。私は2002年夏にブルガリアに赴任し、その間にブルガリア語を集中的に勉強した後、04年夏より在ブルガリア日本大使館で文化広報担当として勤務し始めました。



文化広報担当書記官 山岸あおい

在ブルガリア日本国大使館

みんなで歓迎しよう!! 「ばらの女王」と日本語弁論大会優勝

2006年5月

広島とブルガリアの文化交流と友情を深めて

特別寄稿

(1面からつづき)

ブルガリアには、はっきりとした四季があり、その季節毎に旬の野菜や果物が市場に出回



ります。青空市場に並ぶ色とりどりの野菜を見て季節を感じるのは、室内のスーパーで輸入の果物や野菜が年がら年中ある日本の都会での生活になれていた私には、とても新鮮で楽しいことでした。

また、ブルガリアの美しい山々も季節毎に衣替えをするように色を変え、季節を問わず人々は



その自然の中での散歩を楽しみます。(写真はバルカン山脈)。それから、町のあちこち

に花屋さんがあり、一目でこの国の人達はきっと感謝の気持ちや愛情を伝えるために、お互いに花を贈りあう素敵な習慣を持っているのだと直感しました。

若い女性だけでなく、おじいさんやおばあさん、体格の良い怖そうな男性などが、花束や一輪のバラを手に持って街なかを歩いている微笑ましい光景もよく見られます。

また、ソフィアには映画館やクラブなどの娯楽施設もたくさんあり、同じくらい大小の劇場やコンサート・ホールもあります。日本では大変高価なお芝居やクラシックコンサートのチケットが、ここブルガリアでは学生にも手が届く程の金額で売られていて、老若男女

問わず人々はお芝居やコン



トに足を運んでいます。こうした舞台・音楽芸術が人々の生活

に浸透しているこの生活を、とても文化的だと感じています。

ブルガリアの魅力語り出したらきりがありません。「百聞は一見に如かず」です。ぜひ皆さんご自身で、この国の素晴らしさを体験しにいらして下さい。

2006年3月9日

在ブルガリア日本大使館

文化・広報担当書記官 山岸あおひ



ブルガリアと題して開かれました。ブルガリアを訪ねたこと、浅野二相談役は、自らの体験を紹介しながら同国の魅力を「神様がくれたブルガリア(愛育社)の本を使いながらトラキア墳墓など9か所の世界遺産について語りま

第4回講座は「世界遺産」について、浅野相談役が魅力を語る

好評博した第1期「理解講座」



都市交通や航空網の整備、観光行政などで学術交流を理事 木谷 直俊(広島修道大学教授・剣道教士7段)

都市交通論を専門としながら現在は、航空や空港問題、関連して観光問題などについても研究しています。その対場から、ブルガリアの都市交通や航空網の整備、観光行政の推進などで学術交流を行い、双方の発展に貢献できれば、と思っています。さらに剣道を通してのスポーツ交流にも取り組んでみたい、と考えています。

第5回講座は広島市立大の大庭助教が「バルカン半島における国際関係」で講演



この中で大庭女史は、ブルガリアの民主化と市場経済移行や2007年1月のEU加盟後に触れ、EUとアメリカの両視外交を余儀なくされていると指定し、日本の経済交流の促進が重要なことを強調しました。

2月4日に開かれた第5回「ブルガリア理解講座」は、広島市留学生会館で、講師に当協会理事で広島市立大学の大庭千恵子助教が「バルカン半島の国際関係」と題して講演しました。



神秘の国からの女王たちを心から歓迎

理事 米山 榮子 (主婦)

バルカン半島で古い歴史を持ち、ペールに包まれていた国、世界遺産が9つもある神秘的な国。さら花という「明るい印象」のある国・ブルガリアに興味を持ち、もっと知りたい、との思いが募っています。

共鳴する皆さんとのコミュニケーションの場を協会の中につくり、5月に招待する「ばらの女王」と日本語弁論大会優勝者を、手づくりの交流で心から歓迎したい、と思います。皆様のご支援を宜しくお願いいたします。

会員同士の心が通う「憩いの場」をつくりたい 理事 本多 みどり(主婦)



わが協会も2年目に入り会員も70人近くになりました。これからは、会員同士がコミュニケーションできる「憩いの場」をつくっていききたいものです。「ばらの女王」の招へいに当たっては、普段着の交流で熊の筆など日本文化を紹介したいと考えています。第1次・訪問団では、ローズオイルの作りかたなどを見学したいと思います。

新会員紹介

松島千子、香川敬三、大嶋登、久繁礼子、大門洋三、佐々木愛子、大藤千恵子、木村一江、水上由里 (敬称略)

楽しい旅プランを立てたい友は「たび館」に集合
ひろでん中国新聞旅行 広島市中区八丁堀 082-251-1000

お気軽にご予約ください。全車小型です。
中国タクシー株式会社 0120-887040

販促の企画からパッケージの制作まで
斬新なアイデアを いかして地域を活性化
中国L.C.C 広島市中区 082-241-5311
広島市中区 082-241-726 (有) 巴紙工

2006年8月1日～31日

成功させようカザンラック市での「被爆写真展」

さらに国際貢献、平和交流などを活発化

未知の国・ブルガリアの魅力をもっと知りたい
理事 福本 尚子 (フリー・カルチャーサロン主宰)

日本では余り情報がない未知の国・ブルガリアへの第1次・訪問団に参加する予定ですが、アジアと欧州の文化が共存する国の魅力に接していきたい、と楽しみにしています。

また、大学や高等学校の訪問の際には、詩吟など日本の文化を少しでも紹介したい、と思っています。



バルカン半島に位置するブルガリアは、日本の3分の1という小さな国土です。その国土は、豊富な自然に恵まれているとともに、同半島の文化の発祥地として、さらにアジアとヨーロッパ文明の接触地域となってきた。これらの好条件の中で、9か所の自然・文化世界遺産を残すという宝を残してきたのです。

「自然遺産」は スレバルナ自然保護区 ピリン国立公園の2か所。「文化遺産」は ボヤナ教会 マダラ騎士像 カザンラックのトラキア人墓地 イヴァノヴォの岩窟教会 リラの僧院 古代都市ネセバル スヴェシュタリのトラキア人墓地の7か所です。(地図参照)

ブルガリア探訪
9か所の自然・文化世界遺産を持つ
<1>

第1次・「ブルガリア訪問団」を派遣
大統領府や大学などを表敬訪問
寺田団長10人がカザンラック市も
当協会は5月31日、6月9日までの日程で、第1次・草の根の根、島平和文化センター協

スレバルナ自然保護区は、ペリカンの繁殖地

このうち自然遺産の スレバルナ自然保護区は、ブルガリア北側の国・ルーマニアとの国境となっているドナウ川の下流沿いにあります。この自然保護区は、ドナウ川から流れ込んだ水でできた湖と湿地帯からなり、ニシハイロペリカンの繁殖地になっています。



これらの目的を果たすために、訪問団は大々とした交流などです。

一時は、川からの流入水が少なくなり湖とペリカンの繁殖地が荒廃していましたが、当協会の浜部直樹さんらのJICAプロジェクトの活躍で、自然環境が回復し今ではペリカンが安心して子育てができる繁殖地になっています。

ピリン国立公園は、標高2500m級の山が連なる山地



古の神の住まいとされたヴィクレン山をはじめ、標高2500mを超える切り立った山が60近くも連なる山岳地帯で、広葉樹林と寒帯落葉樹が林立し、四季折々の美しい姿を見せてくれます。麓の村には、ブドウ畑が広がり、ワインの名産地になっており、訪れる人も多いところです。

訪問団は、ブルガリア大使館、ソフィア（日本大使館）、JICA事務所の表敬訪問、ヴェリコ・タルノヴォ市、カザンラック（市庁舎の表敬訪問）、ブルガリアの僧院（世界遺産の保存条

賛）を派遣することに決定。今回の訪問の目的は、経済・学術・教育・留学などについて、広島がどのように貢献できるかを調査、8月に実施が決定したカザンラック市での被爆写真展用の資料贈呈、日本語教師の派遣、市民との交流などです。

ばらの女王招待に向けて全力、ブルガリア訪問も
理事 松尾 健司 (団体職員)

協会の設立して2年間に入り今年度は、「ばらの女王」の招へいや第1次・訪問団の派遣などが見白押しですが、全てを成功させていきたい、と決意しています。そして協会の皆様と協力しながら、地道な活動を進めたい、と私にも近いうちに自然と歴史あふれる魅力のブルガリアを訪ねたい、と思っています。

各地で市民との交流企画を立てています。なお、訪問団メンバーは次の通り。
団長 寺田満和
副団長 福本尚子
事務局長 本多みどり
団員 山尾ひとみ、佐藤佳代子、坂井紗織、今村悦子、木村一江、水上由里



ばらの花びらの山「マミア」12月号から

東欧の国と市民レベルの交流を進めたい
理事 坂本 光裕 (自治体職員)

ブルガリアといえば、東側諸国の一国としてだけで捉えがちが、そんな単純な歴史でなく、500年間もオスマン・トルコの支配下にあったようです。ブルガリアとの市民レベルの交流を通じてトルコそしてヨーロッパへの理解を深めていきたい、と思っています。当面は、5月の「ばらの女王」と日本語弁論大会優勝者の招へいが成功するように努力したい、と決意しています。

全員参画の精神で各イベントの成功を
幹事 久繁 礼子 (法律事務所事務員)

5月に「ばらの女王」を広島に招へいする機会にもっと多くの方にブルガリアについて関心を持って頂けたらと思っています。私もブルガリアのことをもっと勉強して、その歴史や文化、自然などの魅力を知っていきたくと今、努力しています。また、女王に広島を楽しんでもらうために、皆さんと協力して、工夫を凝らした心からのおもてなしができれば、と思います。

みんなが主役 各自の個性、特徴を發揮して、素晴らしい出会いと素敵な「国際貢献」を

